

検討

北海道からのお知らせ

泊発電所におけるプルサーマル計画について検討を行っています。

北海道及び地元4町村（泊村、共和町、岩内町及び神恵内村）では、今年4月に北海道電力㈱から「泊発電所周辺の安全確保及び環境保全に関する協定」（安全協定）第2条に基づき、泊発電所3号機におけるプルサーマル計画に関する事前了解の協議の申し入れを受けました。

プルサーマル計画については、安全性の確保を最優先として慎重な検討が求められることから、現在、北海道では地元4町村と共同で、北

住民をはじめとした道民の皆様方からのご意見などを広く伺いながら、「プルサーマル計画に関する有識者検討会議」によりプルサーマル計画の安全性について科学的かつ専門的な見地から検討を進めています。詳しくは、北海道のホームページをご覧ください。

「ホームページアドレス」

http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/ga/1p_top.htm

なお、検討状況については、道内各支庁においても関係資料の閲覧が可能です。

問合せ

北海道総務部危機対策局原子力安全策環境安全グループ
☎011(204)5012

＜第5次浜頓別町まちづくり計画＞
策定委員会を開催しました

第5次浜頓別町まちづくり計画に係る策定委員会が次の日程で行われ、基本構想・基本計画素案について協議がされました。

同会で取りまとめられた「まちづくり計画（素案）」については、8月28日から9月10日まで町内及び町ホームページで公表し、皆さんからのご意見を募集しました。

- ▶ 8月12日（火） 第2回策定委員会
- ▶ 19日（火） 第3回策定委員会



策定委員会の様子

問合せ 役場総務課企画広報係
☎2-2345(内線218・220)

年金

公的年金は社会全体で高齢者の生活を支える制度です。

問合せ 役場住民課住民係 ☎2・2345(内線114)

貯蓄、仕送りでは難しい老後の生活

かつての日本は、家族で高齢者の暮らしを支えるのが一般的であり、また、私的な貯蓄等によって老後の生活を送ることができました。

しかし、貯蓄には弱点があります。自分の寿命は誰も予想することができません。そのため本来必要な貯蓄額を事前に知ることはできません。子どもによる仕送りに頼ることも難しくなっています。

日本社会の構造変化、第一次産業で働く人の激減、核家族化と少子化の進行、サラリーマン世帯の増大等により、遠く離れた家族が私的な扶養に頼ることは難しくなっています。

社会全体で支える経済変動にも強い

平均寿命が大幅に伸び、老後生活が長期化したことも、私的な扶養や貯蓄によって、老後生活を送ることを困難にしています。

公的年金は、現役世代の保険料負担で高齢者世代を支えるという世代間扶養の仕組みを基本として運営されています。これは、一人ひとりで私的に行っていた老親の扶養や仕送りを、社会全体の仕組みでカバーす

るものです。現役世代が全員ルールにしたがって保険料を納付し、そのときの高齢者全体を支える仕組みは、私的な扶養の不安定性などのトラブルを回避するメリットがあります。

また、年金を受ける頃の将来の経済社会がどうなっているかが予想つかない中で、公的年金は、基本的に物価の変動に応じて支給額が変動する仕組みとなっており、将来の経済変動にも十分に堪えられるものとなっています。それによって実質的価値を維持した年金を一生涯にわたって保証するものであることから、安定的な老後の所得保障を可能にしているのです。

若い世代にとっても重要な役割を果たす

年金は、高齢者世代にとってはもちろんのこと、若い世代にとっても、自分の親の私的な扶養や自分自身の老後の心配を取り除く役割を果たしています。年金は、個人個人の自立を高め、社会の発展、安定に貢献している側面があります。

このように年金は、国民の生活、経済から見て不可欠かつ重要な存在となっておりといえます。国民年金に加入し、保険料を納付しましょう。